

横浜市立洋光台第三小学校 令和2年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
みんなかがやけ 洋三の子	自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○様々な教育活動を通して、自他を大切にし、互いを認め合い、高め合おうとする心情や態度を育てます。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・自分の心や体の健康に関心をもち、よりよい生活習慣を心がけ、進んで身体を動かせるようにします。 ・教育活動の充実と、安心・安全な学校生活のため、保護者や地域・中学校ブロック間の連携を強め、信頼される学校づくりを目指します。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	① 長縄集会を設け、その集会に向けて学級ごとに記録をめざし長縄跳びのスキルアップを図る。個々が運動により親しむことができるように、カードを工夫するなどして短縄にも取り組む。 ② よりよい生活習慣が身につくよう学校保健委員会の活動を充実させる。全校児童が運動に親しんでいけるよう児童委員会の活動を充実させる。
担当 体育部	③ 校内重点研究に体育科の「ボール運動」を設定し、児童の体力や学びに向かう姿勢の向上、教師の授業スキルアップを行えるようにする。

2 体育・健康に関する実態把握

1) 体育・健康に関する実態

- ・朝食の摂取率が、学年によってばらつきがあり、低学年で市の平均を下回る結果が多く見られた。
- ・地域に外遊びができる空間は広い公園がいくつかあるものの、塾や習い事に通っている子どもも多く、1日の運動時間や1週間の運動日数は、市の平均とほぼ同程度である。
- ・家庭の事情から毎朝時間通りに登校できない児童が数名いる。そのため、担任をはじめ児童支援専任教諭や養護教諭、職員室の待機職員が連絡等の対応をしている。
- ・たて割りグループや学級単位で長縄跳びに取り組んでいる。多くの回数を跳ぶことをめあてにしながら、周りの友だちと楽しく活動することができている。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）

- ・全体的に平均をやや上回ってはいるが、上体起こしと50m走において低学年ほど全国平均や市の平均を下回っている。1年から腹筋力や体の俊敏性を伸ばすような運動を取り入れていくことが必要である。また、走力においては、1週間の総運動時間が少ないことともあるため、外遊びで、鬼遊びなどの走る活動を多くして、瞬発力を高めていく必要があると考えられる。
- ・また、20mシャトルランや反復横とびでは、全国平均や市の平均を上回っている。体育の授業や遊び、習い事等の運動経験が持久力の向上につながっているものと思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

体育科・保健体育科での取組

- ・子どもが運動の特性に触れた楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業展開の工夫を行う。
- ・「保健」領域では、「体の成長」や「病気の予防」で養護教諭や外部講師等と連携しながら学び、学習したことを日常生活や運動と関連付けるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、自分の生活を見直し朝食を摂ることの大切さについて理解できるようにする。
- ・生活科・理科では生命の尊さを指導する。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・運動会では、たて割りグループで「長縄跳び」に全校で取り組む。
- ・「全校縄跳び月間」を設け、縄跳びカードを使って児童の意欲を喚起し、縄跳びのスキルアップや持久力の向上を目指す。
- ・学校保健委員会の活動を充実させ、生活習慣の見直しと改善を図る。
- ・全校児童が気持ちのよいあいさつをする習慣を身に付け、自分から進んでできるように、児童会活動を活発にして「あいさつ運動」に取り組む。

課外活動

- ・学校保健委員会を開催し、運動や健康に関するテーマに沿って保護者や職員とともに全校で考え、取り組んでいく。
- ・たて割りグループでの給食交流を実施し、会食の楽しさや大切さがわかるようにする。
- ・地域の体育行事への参加を呼びかけていく
- ・保健委員会による「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉にした取組、運動委員会と集会委員会の連携による運動集会での運動機会の提供を行う。

令和2年度 洋光台第三小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 全校縄跳び大会

《ねらい》 ・たて割り活動や各学級単位で取り組みながら児童相互の交流の場と位置付けるとともに、体力の向上を目指す。

《内容》 ・運動会種目として「長縄跳び」を行う。全校で取り組んでいるたて割り活動を生かして、運動会に向けた練習の段階から楽しく行うようにするとともに、事前の活動や運営を児童委員会の活動の場にもする。（5月）
・学級対抗で「長縄跳び大会」を行う。（12月）
・全校で共通した「縄跳びカード」を配布して、短縄跳びのいろいろな跳び方や回数に挑戦する。（1月）

- 指 標： ①行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」「事後の変化」等を全校児童が各自振り返り、次の活動に生かすようにする。
②児童委員会の活動について振り返り、次の活動に生かすようにする。